12月8日（日） 一般発表スケジュール

日本知財学会 第22回年次学術研究発表会

	A会場	B会場	C会場	D会場
座長	西村 雅子	伊藤 伸	山本 真祐子	谷治 和文
	ブランド、デザイン、コンテンツマネジメント	知財経営	知財制度、国際化に関する課題	学生発表
10:00	1A1 押久保 政彦 日本経済大学経営学部 先行者・後発者の商品コンセプト保護戦略の考察ーファッション・ビジネス分野のスニーカーのリメイク商品を事例として− 宮川幸子、辰巳翔大	1B1 竹尾 一成 特定非営利活動法人 産学連携推進機構 コア・コンピタンスの知財・標準マネジメントに関する論点～自社保有の独自技術力の扱いに関する一考察～ 妹尾堅一郎	1C1 山根 崇邦 同志社大学 営業秘密に関する訴えの管轄権および不正競争防止法の国際的適用範囲	1D1 小林 令奈 Duke University/政策研究大学院大学 米国大学における企業との共同出願特許の分析 渡邉万記子、隅蔵康一
10:20	1A2 井手 李咲 一般財団法人知的財産研究教育財団知的財産研究所 ブランド品リメイクの商標権侵害の当否に関する一考察-韓国の事案を素材に	1B2 高山 雅人 金沢工業大学大学院 両利きの経営実践企業の特許出願傾向に基づく深化・探索活動の特徴抽出 加藤浩一郎	1C2 吉岡(小林) 徹 一橋大学 韓国の著作権フェアユース規定導入の要因についての組織論からの検討 京俊介、申賢哲、河昇彬、小嶋崇弘	1D2 内藤 かのん 大阪工業大学 大学院 知的財産研究科 産学官連携の現状から考察する大学知財の活用の検討 杉浦淳
10:40	1A3 ヴァイン 伸太郎 シチズン時計株式会社 ジーンズに見る商標の創設と追従	1B3（インテンシブ） 妹尾 堅一郎 NPO法人産学連携推進機構 「オープン概念の多様性とその混乱を考察する～オープン&クローズ戦略における機能、意味、示唆～」	1C3 蔡 万里 豊橋技術科学大学 総合教育院 中国におけるＡＩ生成物の著作権侵害事件について	1D3 太田 唯斗 大阪大学工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻 創造力養成のための知財創造教育の実践とその効果に関する研究 白坂一、播磨里江子
11:00	1A4 杉原 陽一郎 慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科 応用美術の著作権による保護とファッション		1C4 齋藤 理央 法律事務所 碧 知的財産権と自然権	1D4 樽谷 樹 大阪工業大学 知的財産研究科 知的財産分野における初学者教育への新提案 榎本吉考
11:20	1A5 東 由美子 国際ファッション専門職大学 神話的・宗教的記号に関する商標登録の現状と潜在的「文化の盗用」問題—公序良俗違反の観点から— 柴田泰子	1B5 三品 岩男 知財開発研究所 発明を多様に捉えるための方法論の検討 妹尾堅一郎、横田俊一、中村正之、横山貞彦、大橋亜沙美、小見崇之、林直哉、齊藤鷹規、竹尾一成		1D5 大原 優太 大阪工業大学 大学院 知的財産研究科 軽EVの軽量化・小型化を実現する車体構造に関わる特許技術に関する研究 村川一雄
休憩				
座長	今村 哲也	山内 勇	加藤 浩	小川 徹
	ブランド、デザイン、コンテンツマネジメント	知財の実証分析	知財制度、国際化に関する課題	学生発表
11:50	1A6 栗原 佑介 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 査読制度と著作権—プレプリント時代の学会投稿規程の在り方を中心に	1B6 計 恵敏 神戸大学大学院経済学研究科 From Quantity to Quality: How China's Bayh-Dole Act Amendment Transformed University Patent Landscape 中村健太	1C6 鄭 茹方 大阪工業大学 知的財産研究科 プロダクト・バイ・プロセス・クレームに関する国際的な比較研究	1D6 吉原 有亮 大阪工業大学 知的財産研究科 不正競争防止法2条1項7号の「その営業秘密を示された」の解釈について 大塚理彦
12:10	1A7 畑野 慎互 日本弁理士会著作権委員会 「AIと著作権に関する考え方について」の論点整理から紐解く三者三様な懸念の行方	1B7（インテンシブ） 川上 成年 株式会社知財デザイン 生成AIを用いた多空間デザインモデルの構築とアイデア創出プロセスの効率化	1C7 橘 雄介 福岡工業大学社会環境学部 クレーム解釈と作用効果不奏功の抗弁/自由技術の抗弁:知財高判令和3.6.28令和2年(ネ)第10044号[コスモ石油対コモタ]	1D7 田中 城士 大阪工業大学 知的財産研究科 清酒分類の地理的表示制度における地域特性の明確性とその確立可能性について －二種類の階層指定の活用－ 茂木祐輔、松井章浩
12:30	1A8 神山 智美 富山大学 音楽レーベルがX(旧ツイッター)によるを著作権侵害で訴え、裁判所が主張の一部を認容した件について(Concord Music Grp., Inc. v. X Corp., 2024 U.S. Dist. LEXIS 38239)		1C8 石埜 正穂 日本弁理士会 バイオ・ライフサイエンス委員会 延長登録に係る特許権の効力範囲と医薬開発のインセンティブ 横田修孝、吉田尚美、宮澤優子、福原充子	1D8 西尾 龍馬 大阪工業大学 大学院 知的財産研究科 改正種苗法における運用と実際−種苗法の今後の在り方について− 大塚理彦
12:50	1A9 安田 和史 株式会社スズキアンドアソシエイツ コンテンツの海賊版対策を利用した詐欺行為について	1B9 上村 侑太郎 DIC株式会社 コンテクスト・ブランディングの構造モデルに基づく商標情報を活用したブランド定量化手法の提案	1C9 谷治 和文 成城大学 特許の進歩性判断における阻害要因に関する研究	1D9 林 双葉 大阪工業大学知的財産学部 ソニーと任天堂のゲームハード機に関する特許分析 −単語分析と特許出願から見る二社の強み− 三浦武範
13:10	1A10 村上 裕之 日本国際映画著作権協会 映像作品ロケ誘致の経済効果とアジア太平洋地域における映画撮影補助政策について	1B10 野崎 篤志 株式会社イーパテント 被引用回数を用いた特許評価に関する考察		1D10 村中 さくら 金沢大学大学院 人員不足が創造的パフォーマンスに影響を与えるメカニズムの解明 金間大介
休憩				

	A会場	B会場	C会場	D会場
座長	末宗　達行	谷島　隆士	杉光　一成	関　真也
	ブランド、デザイン、コンテンツマネジメント	知財経営	知財制度、国際化に関する課題	学生発表
13:40	1A11（インテンシブ） 安田 和史 株式会社スズキアンドアソシエイツ 知的財産権が衣料品の「持続不可能」な状態を作り出す問題について	1B11 村上 加奈子 国立大学法人　鹿児島大学 特許出願の拒絶理由通知の分析によるアカデミアの特許力強化の検討 小野敦子、上原美子、高橋省吾	1C11（インテンシブ） 瀬戸 一希 ユアサハラ法律特許事務所 経営・ブランド戦略と知的財産訴訟の主張立証活動――近時の裁判例からの示唆	1D11 西原 孝輔 大阪工業大学　大学院　知的財産研究科 AI適用発明における進歩性要件の判断について 杉浦淳
14:00		1B12 佐々木 通孝 武蔵野大学　法学部 大学における知的財産収入に関する規定要因の探求:令和4年度　大学等における産学連携等実施状況調査を題材にして		1D12 原 一颯 大阪工業大学　大学院　知的財産研究科 GPUと生成AIに関する技術動向と知的財産に関する調査研究 村川一雄
				その他（知的財産の新領域）
14:20	1A13 村上 画里 東京造形大学 打ち消し表示の効果	1B13（インテンシブ） 高羽 英光 正林国際特許商標事務所 「事業性融資の推進等に関する法律」に基づく企業価値担保権の経済価値評価について	1C13 野呂 高樹 公益財団法人未来工学研究所 欧州連合(EU)における標準必須特許に関する政策オプションのストレステストの一考察	1D13 張 睿暎 獨協大学 生成AI時代のパブリシティ保護～パブリシティ概念の再考～
14:40	1A14 飯島 千尋 弁理士法人大島・西村・宮永商標特許事務所 識別力の低い登録商標の諸問題		1C14 村川 一雄 大阪工業大学 中小企業のイノベーションやDX推進に向けた標準化活動の利用ついて	1D14 西田 泰士 Axelidea株式会社 AIを活用した発明創造活動に関する一考察 加藤浩一郎
			知財経営	
15:00	1A15 小田倉 玉緒 金沢工業大学 イノベーションマネジメント研究科 建築の著作物の同一性保持権と修繕・改築(著作権法20条2項2号)の検討～ノグチ・ルーム事件（東京地裁平成15年6月11日決定）を題材に～	1B15 前川 安 新大阪前川行政書士事務所 企業価値創造の源泉を評価する手法について(金融を例に)	1C15 赤間 愛理 東北大学大学院経済学研究科 中小企業の業績に資する知的財産活動のプロセスについての考察―中小企業支援の効果と意義の観点から―	1D15 乾 利之 IPNJ国際特許事務所 AI特許は企業価値向上に寄与するか ～AI特許出願数と企業価値との関係についての検討～
休憩				
座長	安田　和史	上池　睦	野崎　篤志	早乙女　周子
	ブランド、デザイン、コンテンツマネジメント	知財人材育成、知財教育	知財制度、国際化に関する課題	バイオ、ライフサイエンス
15:30	1A16 石井 美緒 日本大学 商標法4条1項15号の「混同を生ずるおそれ」ー使用許諾に関する混同ー	1B16 湯本 長伯 社会構造設計研究所 産学連携における知的財産権の活用と関する教育環境形成に関する考察ー1 村上晶子	1C16（インテンシブ） 駒谷 剛志 慶應義塾大学 日本の新規知財制度としてのData Exclusivity	1D16 山口 昭彦 BDコンサルティング株式会社 遺伝子パネル診断システムにおけるDNAシーケンサー企業の特許と事業戦略の整合性に関する一考察 加藤浩一郎
15:50	1A17 末宗 達行 金城学院大学 商標における出願経過禁反言の検討	1B17 天野 優子 国立大学法人浜松医科大学 新規事業参入および起業のための知財教材の作成および実証		1D17 隅蔵 康一 政策研究大学院大学 日本における遺伝子関連分野の研究開発の課題:特許データによる分析 藤原奈保子
			知財の実証分析	
16:10	1A18 星野 豊 筑波大学人文社会系 AIによる論文の盗用は可能か?	1B18 杉浦 淳 大阪工業大学知的財産学部 大阪工業大学における知的財産教育の実践と基軸の構築について	1C18 新留 豊 千葉大学人文公共学府 米国特許の有効性に関する定量分析 長根裕美	1D18 小池 秀雄 日本弁理士会　バイオ・ライフサイエンス委員会 代替肉(主にスタートアップ企業)の特許等戦略分析 越智豊、宮尾武孝、若林忠史、辻淳子、野村和弘
16:30	1A19（インテンシブ） 星野 光秀 経済産業省特許庁総務部 「仮想空間における意匠保護に関する我が国意匠法の今後の対応についての一考察―国際動向を踏まえて」	1B19 長 伸明 株式会社リバネス 高専など若年層向けの実践的、知財活用方法の教育プログラム―ものづくり系知財初心者が3ヶ月で知財速習・特許出願を実施 中山 彩	1C19 佐野 哲 静岡県経済産業部商工業局 地域企業に対する研究開発支援策がイノベーションの促進に与える効果について	1D19 曽我 諒 日本大学大学院法学研究科 アテレック錠の形状の特許登録は後発医薬品の形状に影響したのか
16:50		1B20 陳内 秀樹 国立大学法人　山口大学　知的財産センター 教育学部・教職課程等への知財教育実践の成果と課題 木村真二、生田容景	1C20 伊藤 伸 東京大学未来ビジョン研究センター 社員数を成長指標とした大学発ベンチャーの統計分析 渡部俊也、荒木寛幸	1D20 加藤 浩 日本大学法学部 薬機法に配慮した特許実務の課題
休憩				

	A会場	B会場	C会場	D会場
座長	鈴木　公明	木村　友久	吉岡（小林）徹	隅蔵　康一
	ブランド、デザイン、コンテンツマネジメント	知財人材育成、知財教育	知財制度、国際化に関する課題	先端技術、IT、データ利活用
17:20	1A21 野崎 彩子 日本弁理士会商標委員会 商標法第3条に関する審決の傾向の変化について	1B21 満丸 浩 第一工科大学 高校及び高等専門学校の知財学習を支援している事業に関する研究	1C21 Fitri Astari　ASRIL ERIA (Economic Research Institute of ASEAN and East Asia) Patent Technology Transfer in Indonesia: Regulation, Challanges, and Strategies	1D21 大須賀 奈緒 金沢工業大学大学院　イノベーションマネジメント研究科 ライフサイエンス領域の研究開発におけるDeSciによる課題解決の可能性に関する一考察 加藤浩一郎
17:40	1A22 浅野 卓 金沢工業大学　イノベーションマネジメント研究科 ワインに見る、品種・産地の展開とブランディング・知財の組合わせ－品種の拡散と農産物の脱コモディティの両立のヒント－	1B22 木村 真二 山口大学 これからの知財教育関連セミナーの方向性についての一考察 生田容景、陳内秀樹、Mirshod Kuchkorov、小川明子	1C22 三森 八重子 大阪大学 “An analysis of the impact of an introduction of product patents in Bangladesh” Monirul　Azam	1D22 早乙女 周子 京都大学 デジタルセラピューティクスの知的財産戦略 前田知輝
	その他（知的財産の新領域）			
18:00	1A23 大山 有美映 合同会社ゆわく 協同組織金融機関の経営層が保有する人的資産が組織経営に与える影響の考察	1B23（インテンシブ） 世良 清 名古屋文理大学 知財教育のできる学校教職員の養成のために 松岡守、片桐昌直、村松浩幸	1C23（インテンシブ） 竹内 誠也 山口大学大学院 技術経営研究科 教授・弁理士 『スマホ・ソフトウェア競争促進法』立法に係る知財権規制の法政策学的検証 – 諸外国法政策示唆とTRIPS協定適合性 –	1D23 塩入 一希 アシザワ・ファインテック株式会社 特許文書を学習対象としたドメイン特化分析型AIモデルの検討 杉山典正
18:20				1D24 平山 淳 日本弁理士会　特許委員会 メタバース空間における発明実施の問題点
18:40				